

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：斉藤親

事業名	主要地方道 <small>やまとかわはくかんせん しみずがおか</small> 大和川北岸線（清水丘）		事業区分	街路（主要地方道）	事業主体	大阪市
起終点	自：大阪府大阪市住之江区安立3丁目 至：大阪府大阪市住吉区清水丘3丁目			延長	0.26 km	
事業概要 主要地方道大和川北岸線は、大和川右岸近傍を東西に連絡する市域最南部の道路である。本事業区間周辺においては、阪堺電気軌道阪堺線と交差する幹線道路が無いため、地域分断が生じている。また、本区間は、密集市街地となっており災害時の防災空間の確保が必要となっている。このため、鉄道部の立体交差を含む道路整備を行うものである。						
S54年度事業化	S25年度都市計画決定（S44年度変更）	S56年度用地着手	H11年度工事着手			
全体事業費	44億円	事業進捗率	88%	供用済延長	0 km	
計画交通量	8,913台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 5.2 (残事業) 54.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 6/63億円 事業費：5/62億円 維持管理費：1/1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 329/329億円 走行時間短縮便益：323/323億円 走行費用減少便益：7/7億円 交通事故減少便益：-1/-1億円	基準年 平成15年		
事業の効果等 円滑なモビリティの確保、個性ある地域の形成、災害への備え 等						
関係する地方公共団体等の意見			沿線住民等から地域分断解消の要望あり			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 近年の財政状況が厳しい中、年次計画とおりの予算確保が難しくなっている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率は100%、工事進捗率は81%であり、残工事は、アンダーパスの取付坂路部。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成11年度よりアンダーパス工事を進め、阪堺電気軌道直下は既に完了した。現在取付坂路部の工事を進めており、平成16年度の完成を予定している。						
施設の構造や工法の変更等			特になし			
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。